

令和5年度 社会教育委員会（第6回） 議事要旨

◇日 時

令和6年3月19日(火) 午後7時～午後9時

◇会 場

生涯学習センター 2階 学習室2

◇出席者

【委員】小田委員長、杉山副委員長、伊丹委員、櫻井委員、小澤委員、大森委員、市川委員、渡辺委員、井草委員、志田委員、高島委員
【事務局】古谷生涯学習課長、渡邊主幹

◇会議次第及び内容（○は委員の発言）

1 開 会 （事務局）

2 委員長あいさつ

今日は市内の小中学校で卒業式があり、私は向田小の学校運営協議会の会長でもあり主催側で出席した。向田小ではコロナ禍で来賓を絞っており東地区3校の協議でもこの枠を広げない事とした。向田小では市長、議員1名、PTA会長が1名であるが、コミュニティスクールを始めて以降地域との繋がりを持てることを目指し目標を卒業式に地域の方が参加したくなる学校としていた。卒業式に地域の方々が誰でも参加できる様にしたところ、横断幕を持った住民の方々など15から20名位参加して頂いた。残り1年だが来年にはより多くの方が参加してくれるような学校作りをしたい。第2回の委員会でコミュニティスクールと地域学校協働活動の話をして頂いたが本来の学校運営に係る立場の人間は式典では主催者側に座る立場にある事は文科省側も把握しているし市教委も把握している。主催者側に座ることが恥ずかしくない様に役に対する関わりが持っていないと遠慮されて来賓席に座ってしまう事が当たり前になる。私は裾野高の委員でもあり議論の中で主催者側に座るほど関わっていないので来賓側で座らせて貰った。コミュニティスクール、地域と共にある学校である以上学校経営に関わっていると自信を持っていえる住民を育成していくことも大切な視点かと思う。

社教情報の中に沼津市第35期沼津社会教育委員会の答申「地域の繋がりにおける家庭教育支援について」掲載されているので参考にさせていただきたい。

我々の会も残り1年、回数も限られた中で良い関係の中で良い提言書が出来る様に協議を進めていきたい。

3 報告事項

- ・各種委員会委員会の会議報告

特になし

（協議事項は委員長が進行）

4 協議事項

(1) 社会教育委員会の今期の提言について

- ・今期のテーマは「家庭教育支援事業の推進について(仮)」に決定した。提言作成部会を作成し進めることとし、立候補をつのった。(途中参加可)作成部会；小田委員長、杉山副委員長、小沢委員、渡辺委員、志田委員
- ・グループワーク(ラベルワーク)及び意見交換実施

(2) 社会教育振興事業費補助金について

事務局より説明

社会教育法第13条において、社会教育団体へ補助金を交付する場合には、社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない、とされているため、令和5年度の交付状況について説明。令和6年度予算については今年度並みを見込んでいる。

○委員長 この交付要綱は、固定団体へ予算化されたものではない。こういった活動をする団体へ交付できるものになっている。

5 その他

- ・「静岡県社会教育委員連絡協議会50年の歩み」の配布
- ・「社教情報」の配布
- ・社会教育委員の交代がある場合の新委員の推薦について(3月31日期限)
- ・令和6年度第1回会議について 5月末～6月上旬予定
次回、令和6年度第1回社会教育委員会開催日については、教育長の予定と調整しながら令和6年度に入ってから通知する。

6 閉 会 (杉山副委員長)